



愛媛大学法文学部開講科目「紛争と裁判Ⅱ」特別講演会

# 「大川小学校津波被災事件と遺族の「問い」 ～真相究明と教訓化の狭間から～」

日時：2014年11月25日（火）

14時30分～16時00分（開場14時）

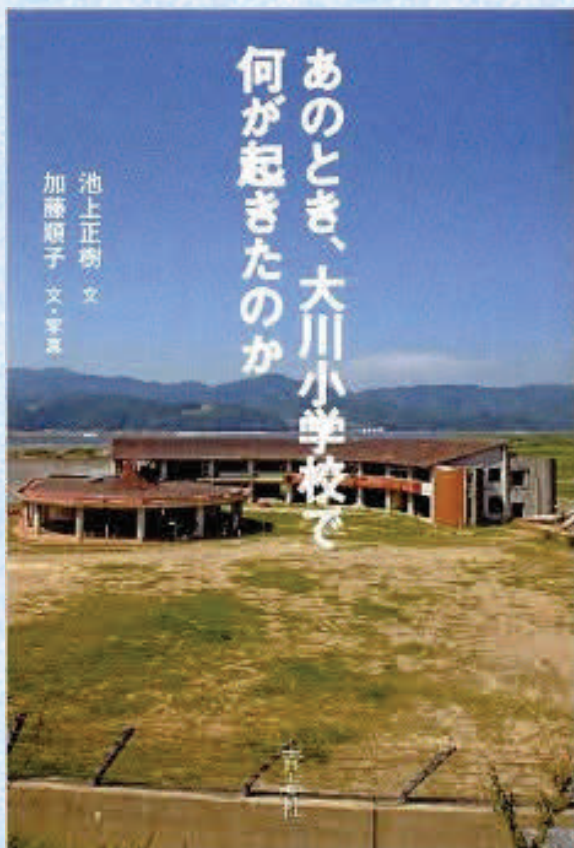
会場：愛媛大学南加記念ホール

講師：佐藤敏郎氏（大川小事件遺族当事者）

加藤順子氏（フォトジャーナリスト）

\* 事前登録不要。どなたでも聴講いただけます！

多くの方の御来場を心よりお待ちしております！



今回の特別講演会では、東日本大震災で発生した津波により児童・教職員併せて84名が死亡・行方不明となった宮城県石巻市立大川小学校津波被災事件について、当時小学6年生の次女・みずほさんを亡くした遺族の佐藤敏郎さん、フォトジャーナリストで事件の取材を続けている加藤順子さんのお二人を講師にお招きします。

講演では、事件の真相究明を求める遺族の「問い」が事件後どのように扱われたのか、第三者検証委員会を中心に問題点を明らかにした上で、事件の「真実」と私たちが学ぶべき「教訓」についてお話いただきます。また、本件事件が民事裁判に至った経緯を踏まえて、紛争解決における法や裁判、弁護士果たすべき役割を考える機会とします。

<この件に関するお問い合わせ先>

愛媛大学 法文学部 総合政策学科 准教授

小佐井 良太

<写真>講師・加藤順子氏の池上正樹氏との共著書『あのととき、大川小学校で何が起きたのか』（青志社、2012年）カバー表紙より。

電話：089-927-9256 メール：r531mail@ehime-u.ac.jp